

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

園芸植物に紛れて侵入しました。鹿児島県では緊急防除種、環境省では特定外来生物に指定され、奄美大島、徳之島で確認されています。固有陸産貝類の捕食・絶滅のおそれがあります。ニューギニアヤリガタリクウズムシを見つけたら、県自然保護課または市町村まで連絡をして下さい。		
1 基本情報		
分類		
目・科名	三岐腸目ヤリガタリクウズムシ科	
種名(亜種名)	ニューギニアヤリガタリクウズムシ	
学名	<i>Platydemus manokwari</i>	
環境省カテゴリー	特定外来生物 緊急対策外来種	
県カテゴリー	緊急防除種	
由来	国外由来外来種	
侵略的外来種番付表	小結(島嶼)	
番付表掲載の理由	県内の生態系等に大きな影響を与える又は与えるおそれのある外来種	
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的外来種ワースト100)	世界の侵略的外来種ワースト100	
侵入・定着の状況		
自然分布域	パプアニューギニア	
県内初報告	2015年10月	
県内への侵入の経緯	園芸植物に紛れて侵入	
県内の侵入分布	奄美大島、徳之島	
全国の侵入分布	琉球列島(奄美大島、沖縄島、久米島、宮古島、伊良部島、伊計島、平安座島)、小笠原諸島(父島)	
生態学的特性		
生態	食性は肉食で、カタツムリ類を捕食する。夜行性で、主に雨の日に活動。地上性だが、木にも登る。	
形態	体長40～65mmの陸生プラナリア。背面は黒褐色で、細い白い線が縦に入る。腹面は淡灰色。頭部が後部よりも細い。	
繁殖形態	不明	
生息環境	温暖な地域の森林、草原。	
特記事項	特定外来生物なので、学術研究や教育などを目的として、あらかじめ申請して許可を取得した場合を除き、飼育、保管、生きたままの移動等はできません。	

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①固有陸産貝類の捕食、絶滅。
県内で特に予想される被害	固有陸産貝類の捕食、絶滅。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①固有陸産貝類の捕食、絶滅。 ②園芸植物に付着。
3 対策	
ニューギニアヤリガタリクウズムシを見つけたら	奄美大島への侵入が確認されています。ニューギニアヤリガタリクウズムシを見つけたら、県自然保護課または市町村まで連絡をして下さい。
見分け方	ニューギニアヤリガタリクウズムシは、体長40～65mmの陸生プラナリア。背面は黒褐色で、細い白い線が縦に入る。本種に似た陸生プラナリアは生息していない。
見かけやすい場所・時間	夜行性で、森林・草原に生息する。
防除方法	効果的な防除方法は確立されていない。 小笠原諸島では、拡散を防止するために、靴の泥を落とす、洗った靴を海水に浸す、港に泥落としマットを設置したりして、他の地域へ拡げないようにしている。
防除の取組事例	東京都では、東京都小笠原支庁のホームページにて「ニューギニアヤリガタリクウズムシの拡散を防止するために」を作成し、拡散の防止を行っている。
その他	定着すると根絶は極めて難しい。島を行き来する資材や人間の鞋底の洗浄を行い、土壌の移動を制限することで、他の地域への分布をこれ以上拡大させないことが重要である。
参考資料・参考URL	国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/70240.html 財団法人自然環境研究センター(2008)日本の外来生物. 平凡社. 東京 Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 東京都小笠原支庁ホームページ ニューギニアヤリガタリクウズムシの拡散を防止するために http://www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/nature/grapple_platydemusmanokwari.html 奄美新聞 2015年10月5日記事 http://amamishimbun.co.jp/index.php?QBlog-20151005-1